

平成25年7月30日

記者発表資料

平成24年度大気環境、水域環境の状況等(概要) ～河川のBODが、初めて全水域で環境基準を達成～

神奈川県では、国及び政令市と連携し、大気環境及び水域環境の調査と、ダイオキシン類などの化学物質調査を行っています。このたび、平成24年度の測定結果をとりまとめましたので、その概要をお知らせします。県では、この結果を踏まえ、環境基準の達成・維持に向け、関係法令に基づき、工場・事業場に対する規制、指導や自動車の排出ガス対策、生活排水対策などを総合的に推進します。

1 大気環境の状況(別紙1)

大気汚染物質についての常時監視測定結果

- ・ 二酸化窒素の環境基準達成率は98.9%(92局中91局)となり、平成23年度(98.9%)と同じであった。
- ・ 浮遊粒子状物質の環境基準達成率は100%(92局中92局)となり、平成23年度(100.0%)と同じであった。
- ・ 微小粒子状物質の環境基準達成率は64.7%(17局中11局)であった。
- ・ 光化学オキシダントは、全測定局で環境基準を達成していなかった。

有害大気汚染物質モニタリング調査の結果

- ・ 環境基準が設定されているベンゼン等4物質について、全地点で環境基準を達成した。
- ・ 指針値が設定されているアクリロニトリル等8物質について、全地点で指針値を満足した。

別紙1 [平成24年度大気環境の状況について\(別紙1\) \[PDFファイル/512KB\]](#)

2 水域環境の状況(別紙2)

公共用水域(河川、湖沼、海域)の測定結果

- ・ 人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)では、2地点において砒^ひ素が火山地帯の自然的要因により環境基準を達成していなかったが、その他の地点ではすべての項目が環境基準を達成した。
- ・ 生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目:BOD又はCOD)の達成率は94.3%(53水域中50水域)となり、平成23年度の92.5%(53水域中49水域)に比べ増加した。
- ・ 特に、河川のBODについて、昭和46年度に水質調査を開始して以来、初めて全水域で環境基準を達成した。

地下水の測定結果

- ・ 定点における環境基準の達成率は、93.3%(105地点中98地点)であった。

別紙2 [平成24年度水域環境の状況について\(別紙2\) \[PDFファイル/256KB\]](#)

3 化学物質調査の結果(別紙3)

ダイオキシン類についての常時監視測定結果

大気調査

県所管区域(横浜市、川崎市、相模原市及び横須賀市を除く区域)において15地点で調査を行った結果、全地点で環境基準を達成していた。

水域調査

県所管区域(横浜市、川崎市、相模原市及び横須賀市を除く区域)において公共用水域(21地点:水質及び底質)、土壌(4地点)及び地下水(4地点)の合計29地点で調査を行った結果、全地点で環境基準を達成していた。

化学物質環境モニタリング調査の結果

・ 大気調査

キシレンなど5物質について、県所管区域(横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市及び藤沢市を除く区域)で排出量が多い市を中心に6地点で調査を行った結果、全地点で評価基準値(室内濃度指針値等)を下回っていた。

・ 水域調査

キシレンなど14物質を選定し、県所管区域(横浜市、川崎市、相模原市及び横須賀市を除く区域)の11河川で水質調査、3河川で底質調査、2河川で水生生物調査を行った結果、評価基準値(水道水質基準値等)のある物質については、いずれも評価基準値を下回っていた。

別紙3 [平成24年度化学物質調査の結果について\(別紙3\) \[PDFファイル/253KB\]](#)

問い合わせ先
神奈川県環境農政局環境部大気水質課
課長 小林
電話 045-210-4120
大気環境グループ 五本木
電話 045-210-4111
水環境グループ 工藤
電話 045-210-4123

□参考資料

参考資料について、以下に掲載いたしました。詳細はこちらをご覧ください。

資料1 [平成24年度大気環境の状況について \[PDFファイル/1.185KB\]](#)

資料2 [平成24年度水域環境の状況について \[PDFファイル/1.849KB\]](#)

資料3 [平成24年度化学物質調査の結果について \[PDFファイル/1.915KB\]](#)



Pdf形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe社が提供するAdobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先からダウンロードしてください。(無料)